

【山崎川の流域治水対策の進捗状況(令和6年度)】

- 河川改修工事、雨水ポンプ場の増強工事を始めとするハード事業を実施
- ハザードマップや雨水流出抑制の普及啓発などソフト対策を実施

対策メニュー	令和6年度の実施事項	今後の予定
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】		
● 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、移動ポンプ整備 (堤防補強、河床掘削、護岸改築、橋梁改築、橋梁補強等)	・ 護岸改築を実施	・ 護岸改築を実施 ・ 名鉄橋梁の改築予定 ・ 移動ポンプ整備予定
● 流出抑制対策 ・ ため池、雨水貯留浸透施設等の保全・整備 ・ 河道及び洪水調節施設の堆積土砂撤去、樹木等の植生管理 ・ 雨水貯留浸透機能を持つ公園・緑地の整備・維持管理 ・ 緑地の保全・創出	・ 河川の堆積土砂の浚渫 ・ 公園・緑地の維持管理 ・ 特別緑地保全地区内における樹林地の維持管理費の助成	・ 河川の堆積土砂の浚渫 ・ 公園・緑地の維持管理 ・ 特別緑地保全地区内における樹林地の維持管理費の助成
● 内水被害軽減対策 ・ 雨水排水網の新設・増強 ・ 雨水ポンプ場の増強・機能強化	・ 雨水排水網の新設・増強工事を実施 ・ 雨水ポンプ場の増強工事を実施	・ 雨水排水網の新設・増強工事を実施予定 ・ 雨水ポンプ場の増強工事・機能強化を実施予定
【被害対象を減少させるための対策】		
● 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組 ・ 立地適正化計画への防災指針の位置付け (防災指針の作成) ・ 水害リスクを考慮した居住誘導 (立地適正化計画に基づく居住誘導)	・ 立地適正化計画の改定(R7.3) ・ 水害リスクを考慮した居住方法の理解促進・誘導	・ 立地適正化計画の防災指針の運用 ・ 水害リスクを考慮した居住の誘導

【山崎川の流域治水対策の進捗状況(令和6年度)】

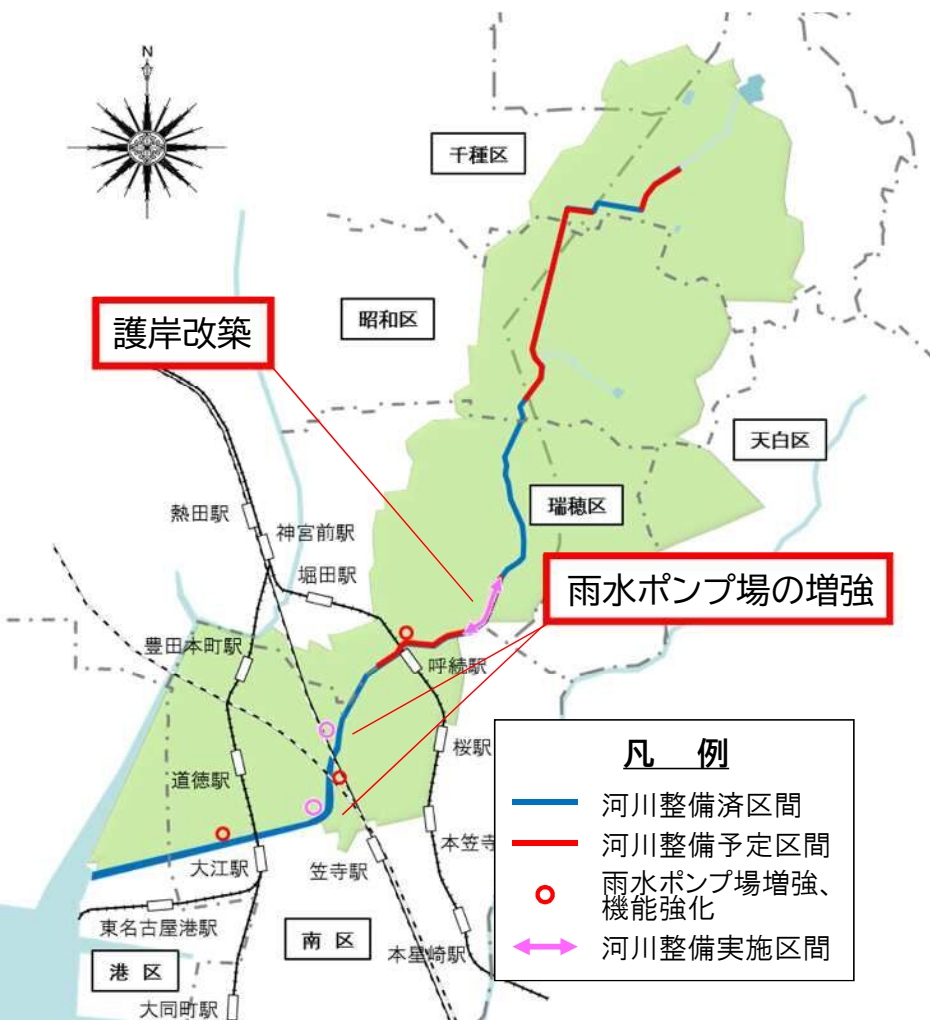
対策メニュー	令和6年度の実施事項	今後の予定
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】		
●ソフト対策のための整備 ・ハザードマップの更新及び普及啓発 ・防災情報の提供	・ハザードマップの時点更新及び普及啓発 ・防災情報の提供(名古屋市防災アプリ、SNS、市公式ウェブサイト等)	・ハザードマップの時点更新及び普及啓発 ・洪水ハザードマップ等の見直し ・防災情報の提供(名古屋市防災アプリ、SNS、市公式ウェブサイト等)
●被害軽減対策 ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 ・雨水流出抑制の普及啓発 ・防災人材育成の推進 ・水循環に関する普及啓発	・要配慮者利用施設等における避難確保計画等の作成支援、避難確保計画等作成支援システムを運用 ・助成制度の活用を含めた雨水流出抑制の普及啓発を実施 ・令和7年度防災人材育成計画の策定 ・名古屋市環境学習センターにて、水循環学習プログラムを上映 ・ガイドマップ「山崎川の水の環」の配架 ・水循環PR動画公開(山崎川) ・湧き水モニタリング ・浅層地下水位の測定 ・水の環復活なごや戦略実行計画2030の策定	・要配慮者利用施設等における避難確保計画等の作成支援、避難確保計画等作成支援システムを運用 ・助成制度の活用を含めた雨水流出抑制の普及啓発を継続実施 ・防災人材育成計画の策定 ・防災人材育成事業の実施 ・名古屋市環境学習センターにて、水循環学習プログラムを継続上映 ・ガイドマップ「山崎川の水の環」の配架を継続実施 ・水循環PR動画の継続公開 ・湧き水モニタリングの継続実施 ・浅層地下水位の測定の継続実施 ・策定した水の環復活なごや戦略実行計画2030に基づく施策の実施
●住民の主体的な避難行動を促す取組 ・「地区防災カルテ」を活用した学区毎の防災活動の実施 ・各種訓練の実施 ・分かりやすい教材等を用いた防災教育	・「地区防災カルテ」の運用(地域住民間の話し合いによる対策検討) ・名古屋市総合水防訓練の実施 ・分かりやすい教材等を用いた防災教育を実施	・「地区防災カルテ」の運用 ・名古屋市総合水防訓練の実施 ・分かりやすい教材等を用いた防災教育を継続実施

【山崎川の流域治水対策の進捗状況(令和6年度)】

対策メニュー	令和6年度の実施事項	今後の予定
【グリーンインフラの取組】		
●自然環境の保全・復元などの自然再生 ・緑地の保全・創出	・民有緑地の保全・創出(緑化地域制度に基づく緑化) ・特別緑地保全地区内における樹林地の維持管理費の助成	・民有緑地の保全・創出(緑化地域制度に基づく緑化) ・特別緑地保全地区内における樹林地の維持管理費の助成
●健全な水環境系の確保 ・水環境の向上	・猫ヶ洞池等からの導水 ・山崎水処理センター改築事業の基本設計及びFS調査を実施	・猫ヶ洞池等からの導水 ・山崎水処理センター改築事業に伴う高度処理化による処理水質の向上
●魅力ある水辺空間・賑わい創出 ・水辺の賑わい空間創出	・桜のライトアップ(かなえ橋から鼎小橋まで) ・山崎川周辺の桜並木の更新	・桜のライトアップ(かなえ橋から鼎小橋まで) ・山崎川周辺の桜並木の更新
●自然環境が有する多様な機能活用取組 ・小中学生向けの河川環境学習 ・雨庭、雨水浸透施設の整備促進、普及啓発	・山崎川の水辺の生き物観察教室 ・市民モニタリング ・湧き水モニタリング ・道路等への雨庭の導入に向けた検討	・山崎川にて水辺の生き物観察教室を継続実施 ・市民モニタリングの継続実施 ・湧き水モニタリングの継続実施 ・道路等への雨庭の導入に向けた試験整備

氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策

名古屋市



○ 護岸改築

- ・山崎川では、年超過確率1/10規模の降雨による洪水を安全に流すため、護岸改築を実施中
- ・令和6年度は、新瑞橋から可和名橋間で整備を実施

○ 堤防補強

- ・南海トラフ巨大地震による津波の浸水被害を防ぐため、平成26年度より堤防補強を実施
- ・令和5年度に耐震化完了

○ 雨水ポンプ場の増強

- ・内浜ポンプ所及び山崎水処理センター内ポンプ所では、老朽化に伴うポンプ施設の改築にあわせて排水能力の増強を実施中

対策メニュー

- 堤防整備、河道掘削、橋梁改築等
- 流出抑制対策
 - ・ため池、雨水貯留浸透施設等の保全・整備
 - ・河道及び洪水調節施設の堆積土砂撤去、樹木等の植生管理
 - ・雨水貯留浸透機能を持つ公園・緑地の整備・維持管理
 - ・緑地の保全・創出
- 内水被害軽減対策
 - ・雨水排水網の新設・増強
 - ・雨水ポンプ場の増強・機能強化

令和6年度の実施事項

- ・護岸改築(新瑞橋から可和名橋間)
- ・河川の堆積土砂の浚渫(山崎川)
- ・公園・緑地の維持管理
- ・特別緑地保全地区内における樹林地の維持管理費の助成
- ・雨水排水網の新設・増強
- ・雨水ポンプ場の増強(内浜ポンプ所、山崎水処理センター内ポンプ所)

被害対象を減少させるための対策

名古屋市

○ 立地適正化計画の運用

- ・「なごや集約連携型まちづくりプラン」を立地適正化計画として作成
- ・水害リスクを考慮した居住誘導区域の設定や居住誘導区域外の届出制度の運用により災害リスクを踏まえた居住を誘導
- ・居住誘導区域内外問わず災害リスクの内容や安全に配慮した居住方法の理解促進をはかるため、本市独自の要安全配慮区域を設定するとともに、防災対策等を取りまとめた防災指針を作成

● 要安全配慮区域の設定

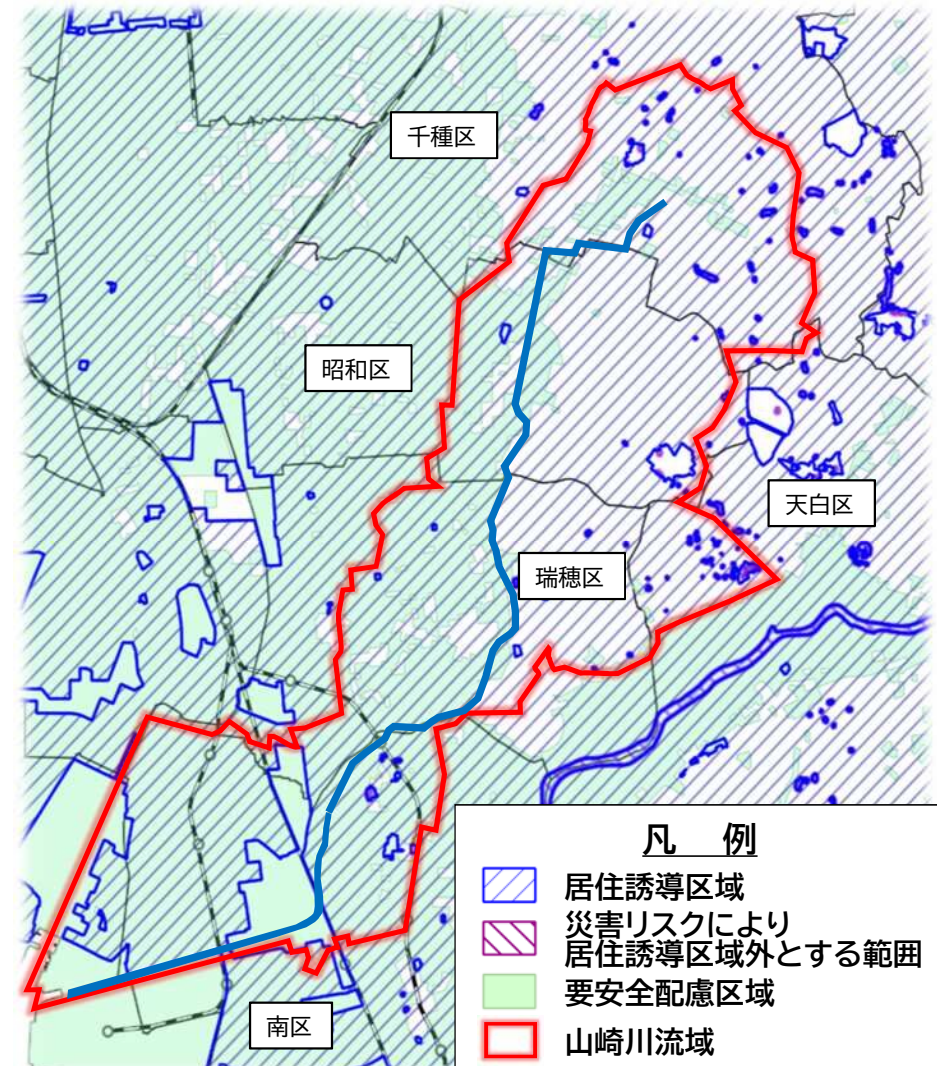
● 防災指針の位置付け



なごや集約連携型まちづくりプラン



↓ 要安全配慮区域(山崎川流域周辺)



対策メニュー

- 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組
- 立地適正化計画への防災指針の位置付け（防災指針の作成）
- 水害リスクを考慮した居住誘導（立地適正化計画に基づく居住誘導）

令和6年度の実施事項

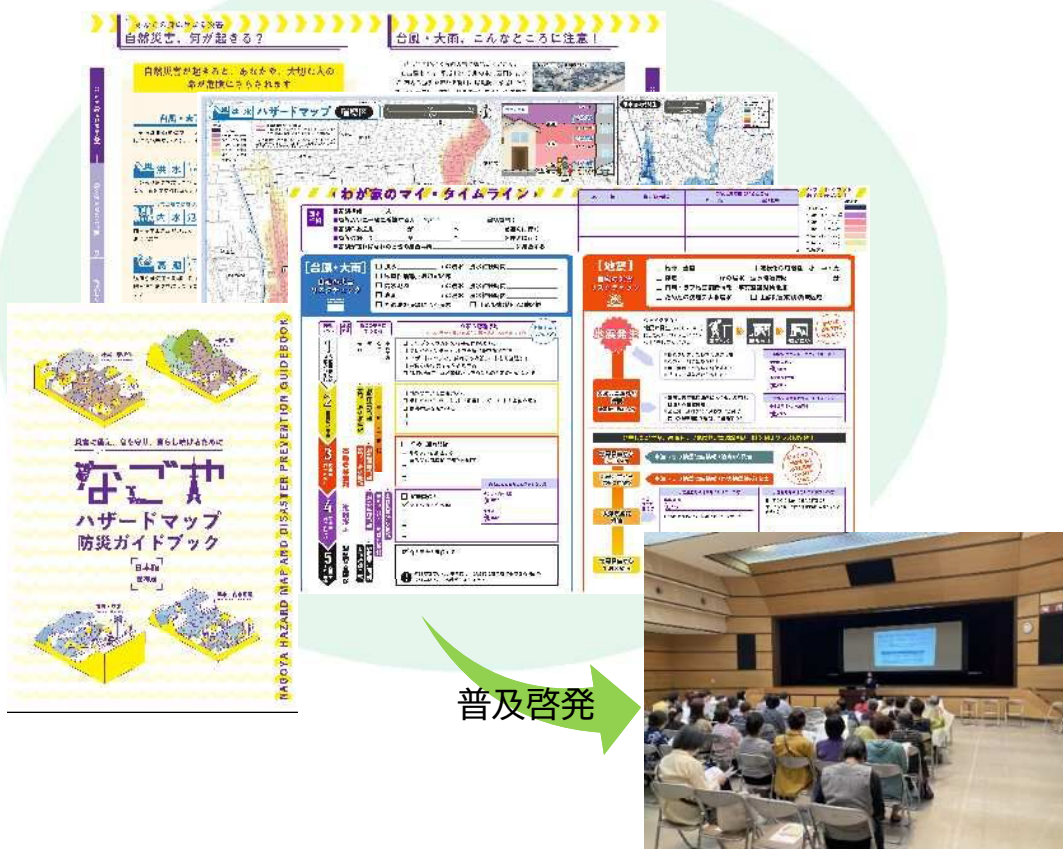
- 立地適正化計画の改定(R7.3)
- 水害リスクを考慮した居住方法の理解促進・誘導

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策①

名古屋市

○ ハザードマップの時点更新及び普及啓発

・「なごやハザードマップ防災ガイドブック」の時点更新及び普及啓発を実施



普及啓発

○ 防災情報の提供

・名古屋市防災アプリ、SNS、市公式ウェブサイト等を用い防災情報を提供
・令和6年度に「名古屋市防災アプリ」をリニューアル



アプリのダウンロードはこちらから

iPhone・iPadご利用の方



Androidご利用の方



対策メニュー

- ソフト対策のための整備
 - ・ハザードマップの更新及び普及啓発
 - ・防災情報の提供
- 住民の主体的な避難行動を促す取組
 - ・「地区防災カルテ」を活用した学区毎の防災活動の実施
 - ・各種訓練の実施
 - ・分かりやすい教材等を用いた防災教育

令和6年度の実施事項

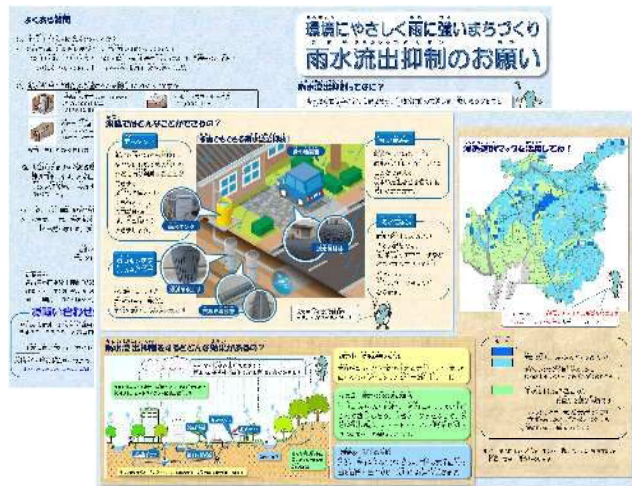
- ・ハザードマップの時点更新及び普及啓発
- ・防災情報の提供(名古屋市防災アプリ、SNS、市公式ウェブサイト等)
- ・「地区防災カルテ」の運用(地域住民間の話し合いによる対策検討)
- ・名古屋市総合水防訓練の実施
- ・分かりやすい教材等を用いた防災教育を実施

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策②

名古屋市

○ 助成制度の活用を含めた雨水流出抑制の普及啓発

- ・雨水流出抑制施設である、雨水タンク、浸透雨水ますの設置への助成制度を令和4年度より開始
- ・リーフレットを用いたPR活動を実施



○ 名古屋市環境学習センターにて、水循環学習プログラムの上映

- ・名古屋市環境学習センター(エコパルなごや)のバーチャルスタジオにおいて、小学校高学年以上を対象とした、水循環をテーマとしたプログラム「なごやの水の環～めぐりめぐって水循環～」を上映
- ・マスコットキャラクターの「コパ」とのクイズや対話を通し、水循環についての理解を深めることで、自分たちができることを考えるきっかけとしてもらう



名古屋市環境学習センター
(エコパルなごや)



水循環学習プログラム

「理解度・認知度の向上」から、さらに「行動の実践」へつなげる

対策メニュー	令和6年度の実施事項
● 被害軽減対策 ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 ・雨水流出抑制の普及啓発 ・防災人材育成の推進 ・水循環に関する普及啓発	・要配慮者利用施設等における避難確保計画等の作成支援、避難確保計画等作成支援システムを運用 ・助成制度の活用を含めた雨水流出抑制の普及啓発 ・令和7年度防災人材育成計画の策定 ・名古屋市環境学習センターにて、水循環学習プログラムを上映 ・ガイドマップ「山崎川の水の環」の配架 ・水循環PR動画公開 ・湧き水モニタリング ・浅層地下水位の測定 ・水の環復活なごや戦略実行計画2030策定

○山崎川の桜並木の更新

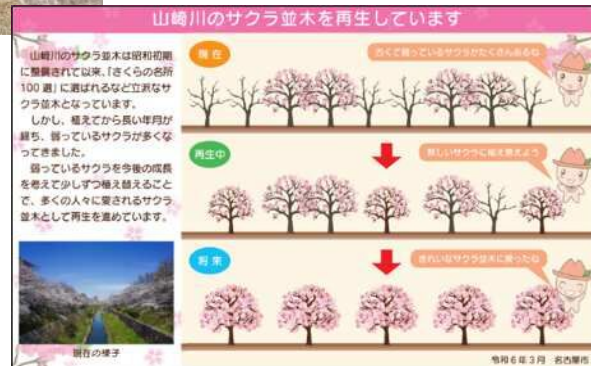
- ・「日本さくら名所100選」にも選ばれている、山崎川の桜を保全するため、衰弱した桜の植え替えを実施



山崎川の桜は、石川橋から落合橋までの約2.5kmに約600本の桜が植えられています



衰弱した桜



桜並木再生のイメージがわかる看板↑
(かなえ橋の西側に設置)

○山崎川の桜ライトアップ



- ・かなえ橋から鼎小橋間において、桜の見ごろに合わせてライトアップを実施

○山崎川にて生き物観察教室を実施



モツゴ



モクズガニ

対策メニュー

- 自然環境の保全・復元などの自然再生
- 緑地の保全・創出
- 健全な水循環系の確保
- 水環境の向上
- 魅力ある水辺空間・賑わい創出
- 水辺の賑わい空間創出
- 自然環境が有する多様な機能活用の取組み
- 小中学生向けの河川環境学習
- 雨庭、雨水浸透施設の整備促進、普及啓発

令和6年度の実施事項

- ・ 民有緑地の保全・創出(緑化地域制度に基づく緑化)
- ・ 特別緑地保全地区内における樹林地の維持管理費の助成
- ・ 猫ヶ洞池等からの導水
- ・ 山崎水処理センター改築事業の基本設計及びFS調査を実施
- ・ 桜のライトアップ(かなえ橋から鼎小橋まで)
- ・ 山崎川周辺の桜並木の更新
- ・ 山崎川の水辺の生き物観察教室
- ・ 水質環境目標市民モニタリング
- ・ 湧き水モニタリング
- ・ 道路等への雨庭の導入に向けた検討